

2016年度第4回京都競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 愛宕特別

愛宕（あたご）は、京都市北西部にある山。山頂に愛宕神社があり、本宮に稚産日神（わくむすびのかみ）、伊弉冉尊（いざなみのみこと）などを、若宮に雷神（いかづちのかみ）、迦具土神（かぐつちのかみ）などを祭っている。千日詣には、毎年数万人の参拝者が訪れる。

○ 久多特別

久多（くた）は、京都市左京区の地名。京都市の最北部に位置し、山々に囲まれ豊かな自然に恵まれていることから、溪流釣りなどのアウトドアが盛ん。室町時代から伝承されている「花笠踊り」は、国の重要無形民俗文化財に指定されている。

○ 平城京ステークス

平城京（へいじょうきょう）は、元明天皇の和銅3年（710）に藤原京から遷都し、桓武天皇の延暦3年（784）に長岡京に遷都されるまでの都。京域は現在の奈良市から大和郡山市に及び、主要部は東西約4.3km、南北約4.8km。北端中央を平城宮とし、その南面中央から南下する朱雀大路の東側を左京、西側を右京、左京の東側へ張り出した部分を外京と呼んだ。

<第2日>

○ りんどう賞

りんどうは、リンドウ科の多年草。日本全土に分布し、秋に青紫色の鐘状の花を数個開花させる。根は苦みが強く、竜胆（りゅうたん）の名で健胃薬としても用いられる。花言葉は「正義」「誠実」。

○ 清滝特別

清滝（きよたき）は、京都市右京区の地名。保津川支流の清滝川が流れ、高雄や保津峡をめぐるハイキングコースになっており、秋には紅葉の名所として多くの観光客が訪れる。天然記念物のゲンジボタルの生息地としても知られている。

○ 夕刊フジ杯オパールステークス

オパール (Opal) は、真珠のような光沢をもつ半透明の鉱物。また、10月の誕生石。欧米では涙をもたらす石とよばれている。

夕刊フジは、産業経済新聞社より発行されている夕刊紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第3日>

○ 顕彰者選定記念レジェンドトレーナーカップ (橋口弘次郎元調教師)

本競走は、中央競馬の発展に多大な貢献があったとして、橋口弘次郎元調教師が本年顕彰者に選定されたことを記念して実施される。

橋口弘次郎元調教師は、JRA 通算 991 勝をあげたほか、平成 2 年には JRA 賞における年間最多勝利調教師、優秀技術調教師となるなど輝かしい実績を残した。主な管理馬は、ダンスインザダーク号・ハーツクライ号・ワンアンドオンリー号など。

○ 顕彰馬選定記念ジェンティルドンナメモリアル

本競走は、中央競馬の発展に多大な貢献があったとして、ジェンティルドンナ号が本年顕彰馬に選定されたことを記念して実施される。

ジェンティルドンナ号は、中央競馬史上 4 頭目の 3 歳牝馬三冠馬。史上初となるジャパンカップ連覇やドバイシーマクラシック制覇など、G I 競走 7 勝の輝かしい実績を残した。

○ 農林水産省賞典京都大賞典 (G II)

本競走は、昭和 41 年に『ハリウッドターフクラブ賞』の名称で創設された重賞競走。創設時は 3200m だったが、翌年 2400m に短縮され、49 年に現在の競走名に改称された。

なお、第 1 着馬には同年の天皇賞 (秋) への優先出走権が与えられる。

<第4日>

○ 紫菊賞

紫菊 (しぎく) は、紫色の花をつけるキクの総称。キクは、食用としても古くから親しまれ、お浸し・酢の物・天ぷら・吸い物など様々な料理に用いられる。中でも赤紫色系統のキクは、栄養価の高さから延命薬ともよばれている。

○ 堀川特別

堀川（ほりかわ）は、京都市中心部を流れる川。延暦 13 年（794）平安遷都の際、自然の河川に手を加えて流路を定めた。かつては農業用水や友禅染の工程に利用されていたが、現在は大部分が地下を通る水路になり、地表にはほとんど水が流れていない。堀川通り沿いには二条城や西本願寺などがある。

○ 清水ステークス

清水（きよみず）は、京都市東山区の清水寺を中心とした一帯。清水寺は、宝亀 9 年（778）の開創といわれ、山号は音羽山、宗派は北法相宗。「清水の観音さま」「清水の舞台」「音羽の滝」が有名で、多くの参拝者が訪れる。平成 6 年にはユネスコ世界文化遺産に登録された。また、この地域は清水焼の産地としても有名。

<第 5 日>

○ もみじステークス

もみじは、晩秋に木の葉の色が変化する現象。また、カエデ科の数種を指す総称。日本列島には、秋に紅葉する植物が非常に多く自生しており、その数は 100 種類以上であるといわれている。

○ 鳴滝特別

鳴滝（なるたき）は、京都市右京区の地名。中央を流れる御室川を鳴滝川ともいう。名は、この地にある小さな滝の音に由来するといわれている。また、江戸時代の陶芸家、尾形乾山が窯を開いた地でもある。

○ 秋華賞（G I）

本競走は、平成 8 年に創設された 3 歳牝馬限定の重賞競走。7 年まで、『桜花賞』、『優駿牝馬（オークス）』に続く牝馬三冠最後の競走は『エリザベス女王杯』であったが、同競走の出走馬資格が 3 歳以上牝馬となったことに伴い、新たに三冠を締めくくる競走として本競走が設けられた。

秋華（しゅうか）は、中国の詩人である杜甫や張衡が文字通り「あきのはな」として詩中で用いた言葉。「秋」は大きな実りを表し、「華」には名誉・盛り・容姿が美しいという意味が込められている。

○ 藤森ステークス

藤森（ふじのもり）は、京都市伏見区にある神社。本殿は、室町時代の一間社流造りで国の重要文化財に指定されている。5 月上旬に催される藤森祭では、勇ましい武者行列が町内を巡り、表参道では駄馬（かけうま）神事が行われる。

<第6日>

○ 壬生特別

壬生（みぶ）は、京都市中京区の地名。かつては朱雀大路と並行して、平安京を南北に貫く壬生大路が大内裏の美福門に通じていたが、低湿地であったため農業が発達し、農村に転じていった。また、幕末には新撰組が屯所を置いたことでも知られる。壬生寺では毎年節分・4月・10月に、国の重要無形民俗文化財である壬生大念仏狂言が一般公開される。

○ 古都ステークス

古都（こと）は、古い都・旧都という意味。京都は、延暦13年（794）に長岡京から平安京として遷都されて以来、明治2年の東京遷都まで1000年以上にわたって日本の首都であった。かつての皇居、京都御所が京都市中心部にあり、その広大な敷地は京都御苑とよばれ市民の憩いの場となっている。

○ 室町ステークス

室町（むろまち）は、京都市中央部の通り。北は北山通から南は久世橋通までを指す。三条通との交差点付近は交通の便がよく、西陣にも近いことから繊維問屋が集中している。今出川通の北側には、「花の御所」と呼ばれた室町幕府が置かれた。

<第7日>

○ なでしこ賞

なでしこは、ナデシコ科ナデシコ属の多年草の総称。ナデシコ属の植物は世界各国に分布しており、日本原産の種も存在する。夏から秋にかけて桃色の花を咲かせる。秋の七草のひとつで、ヤマトナデシコ、カワラナデシコなどの別名がある。花言葉は「純愛」「大胆」。

○ 北野特別

北野（きたの）は、京都市上京区の地名。学問の神様として信仰を集める菅原道真を祀る北野天満宮があり、受験シーズンには多くの合格祈願者が訪れる。毎月25日に縁日が開かれ、1月の初天神、12月の終い天神は特に多くの参拝者で賑わう。また、梅の名所としても知られ、菅原道真の命日である2月25日には梅花祭が開かれる。

○ 桂川ステークス

桂川（かつらがわ）は、京都市西部を流れる川。丹波山地の東端を水源とし、亀岡盆地・保津峡・京都盆地を経て大山崎付近で宇治川、木津川と合流し、淀川となって大阪湾に注ぐ。周辺には松尾大社や桂離宮など名所旧跡も多い。

○ 菊花賞 (G I)

本競走は、イギリスの『セントレジャー』に範をとり、昭和 13 年に『京都農林省賞典四歳呼馬競走』として創設された重賞競走。23 年より現在の名称になり、距離や実施場は第 1 回から変わらず (スタンド改築時を除く)、今日まで受け継がれている。『皐月賞』、『東京優駿 (日本ダービー)』に続く 3 歳クラシック三冠の最終関門。本競走は、「最も強い馬が勝つ」といわれており、二度にわたる坂越え、3000m の距離を乗り切るスピードとスタミナを兼ね備えた馬に栄冠が輝く。

菊花 (きっか) は、菊の花の意。菊は、キク科キク属の多年草で、世界中に 1 万種以上あるといわれている。色や形は種類によって多岐に渡り、観賞用だけでなく食用としても用いられる。花言葉は「高貴」「高尚」。

○ 大山崎特別

大山崎 (おおやまざき) は、京都盆地の南西端にある京都府乙訓郡の町。淀川水系の桂川・宇治川・木津川が合流する地域にあり、また名神高速道路や東海道新幹線が通っていることから、治水上、交通上重要な役割を担っている。

< 第 8 日 >

○ 萩ステークス

萩 (はぎ) は、マメ科ハギ属の落葉低木の総称。葉は 3 枚の小葉からなる複葉で楕円形。秋には、紅紫色の蝶形花を対生状につける。秋の七草の 1 つでもある。花言葉は「想い」「思案」。

○ 八坂ステークス

八坂 (やさか) は、京都市東山区祇園町の地名。八坂神社の例祭は祇園祭と呼ばれ、7 月に行われている。特に 16 日の宵山、17 日の神輿渡御と山鉦巡行、24 日の還幸と花傘巡行が名高く、東京の神田祭、大阪の天神祭とともに日本三大祭と称されている。

○ 毎日放送賞スワンステークス (G II)

本競走は、昭和 33 年に創設された重賞競走。創設当初は春季の 1800m、ハンデキャップ戦で実施されていたが、36 年より別定戦に変更され、さらに幾度かの変更を経た後、59 年から秋季の 1400m となった。

スワン (Swan) は、「白鳥」を意味する英語。京都競馬場の馬場中央の池を泳ぐ白鳥は同競馬場のシンボルである。

毎日放送は、大阪市に本社を置く放送局。略称は MBS。ラジオは昭和 26 年開局で JRN と NRN 系列、テレビは 34 年開局で TBS 系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第9日>

○ 北國新聞杯

北國新聞は、北國新聞社より発行されている日刊紙。同社は、石川県金沢市に本社を置く。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 御陵ステーキス

御陵（みささぎ）は、京都市山科区の地名。本来は、天皇、皇后の墓の意。天智天皇（在位 668～671 年）の陵墓がある。天智天皇は在位年数こそ 4 年と短いですが、大化改新によって蘇我入鹿を倒して実質的な政権の座につき、公地公民制の導入や律令体制の形成に大きな業績を残した。

○ カシオペアステーキス

カシオペア（Cassiopeia）は、北の空に見られる星座。北斗七星とともに北極星を探す指標となる星座として知られている。星座の形が M 型や W 型に見えることから「山形星」「錨星」とも呼ばれる。名は、ギリシャ神話に登場する古代エチオピア王妃のカシオペイアに由来するといわれている。